

## 検討項目（案）

1 ICT人材をめぐる現状と課題

## (1) ICT人材をめぐる環境

〔例：①ICT利活用の浸透に伴うICT需要増、②インド、中国、韓国等の台頭に伴う競争激化、③日本のオフショア開発規模の拡大、④厳しい経営環境 等〕

## (2) ICT人材をめぐる現状と課題

ICT人材<sup>※</sup>別の現状と課題

- ※・ 職種（例：技術系（ICT企業等のITアーキテクト、プロジェクトマネジャー等）、マネジメント系（ICT利用企業等のCIO等））、
- ・ スキル（ICT技術、マネジメント能力、その他ソフトスキル（コミュニケーション能力、グローバル化への対応能力（外国語能力）、業務知識）、
  - ・ レベル・段階（例：初級・中級・上級別）等
- 別により検討

〔例：①厳しい勤務環境（処遇の悪化）、②業界としての魅力低下、③人材不足 等〕

## (3) 課題解決に向けた方向性

## 課題解決が必要な人材像（職種、スキル、レベル・段階等）別の方向性

〔例：①職業としての魅力向上、人材定着等のための企業内人材育成環境（処遇等）の整備、②国内ICT人材の育成（目標人材予備軍（新卒者）、目標人材候補者（社会人））、③海外ICT人材の活用（海外人材の採用（オンサイト）、海外への業務委託（オフショア）等）等〕

## (4) （国内）高度ICT人材育成の必要性

2 高度ICT人材育成の現状と課題

## (1) 高度ICT人材育成の現状と課題

段階別、主体別（企業、人材育成機関（例：高等教育機関、研修事業者等）、政府別）の現状と課題

## (2) 我が国において求められる高度ICT人材像（育成目標とする高度ICT人材像）

〔例：職種、スキル、レベル・段階等 理系から文系までの幅広い人材～専門性の高い人材〕

## (3) 高度ICT人材育成に必要な環境

〔例：能力に応じた処遇、明確なキャリアパス、人材育成機会の確保等〕

- (4) 高度ICT人材育成に必要な育成プログラム（段階（新卒採用段階・社会人キャリアアップ段階）別）

〔例：スキル習得（基礎的な知識・能力と実践的な知識・能力）、職業意識の醸成、キャリア形成支援等〕

### 3 諸外国における高度ICT人材育成等

諸外国における高度ICT人材育成、国内他産業における人材育成の状況等

### 4 高度ICT人材育成に向けた取組の基本方針

- (1) 段階別、主体別の課題解決に向け喫緊に必要な取組の基本方針

産学官の連携、グローバルな観点からの高度ICT人材育成の在り方等にも留意しながら、喫緊に必要な取組（既存の取組の充実と新たな取組）の基本方針を整理

（例）

- a) 人材育成環境の整備の在り方

〔例：能力に応じた適正な処遇、キャリアパスの明示、仕事のやり方の見直し等〕

- b) 人材育成機会の充実の在り方

〔例：①人材育成プログラムの充実（実践的教育の充実、新たな技術への対応、グローバル化への対応能力育成（外国語能力等）等）、②教育人材の確保・育成、③産業界による支援（インターンシップの受入、講師派遣等）等〕

- c) 拠点大学院支援の在り方

- d) 高度ICT人材育成を促進するためのナショナルセンター的機能の在り方

- ・ 機能の在り方
- ・ 位置付け、組織等の在り方
- ・ 産学官の役割と連携推進の在り方
- ・ 海外高度ICT人材育成機関との連携等の在り方 等

- (2) その他

例：高度ICT人材育成の取組を広く全国に展開するための方策、高度ICT人材の情報交流の場（コミュニティ）形成等

### 5 具体的な高度ICT人材育成策

1～4を踏まえ、具体的な高度ICT人材育成策を取りまとめ